



参加者 市長の津山城（鶴山公園）への思いはかがでしようか。
市長 津山城は素晴らしい津山を象徴する歴史資産だと考えています。特に石垣の評価が高いので、石垣を修復して後世に伝えることが必要だと思っています。
参加者 津山城をもっと知ってもらいために、6つの門があった場所に表示があるといいですね。
市長 遺構が残っている京橋門の一部などを公園として整備して、門の表示もで

きればと考えています。
参加者 城西地区には老朽化が進む建物も見られますが、昔からあるものを上手に生かし、城下町の雰囲気を出したいと思っています。道や駐車場の整備、トイレの表示をわかりやすくすることも必要だと思っています。城西を通るごんごバスがもっと観光に生かせるといいですね。
 また、お寺巡りなどのイベントを企画して、まちを盛り上げていきたいと考えています。津山まつりのスケジュールが入ったパンフレットを作り、食事コーナーや観覧席、トイレ、グッズなどを整備して、祭りの見せ方を考えれば、もっと観光客も増やせると思います。
市長 城西地区では、まちおこしにかける皆さんの思いが目にみえて分かります。古くから伝わる寺社や和菓子、伝統工芸など、津山の資源を大切にしたまちづくりをしていきたいですね。
参加者 市内外の皆さんへ、津山の歴史や文化を、今こそ発信していきたいですね。
市長 津山のまちを元気にするため、本市の良さをPRし、全国への知名度の向上を図るため、シティプロモーションに取り組み始めました。効果的な情報発信をしていきたいと思っています。



参加者 嚙下食は、食べ物を飲み込むことが難しい人のための食事です。わたしたちの病院では、6年前から嚙下食に力を入れて取り組んできました。今回、全国のコンテストに初めて出場し、ご当地グルメのホルモンうどんと地酒の嚙下食を作って優秀賞を受賞でき、とてもうれしいです。この機会に、嚙下食のことを市民の皆さんに知ってもらいたいと思っています。
市長 早くから嚙下食への問題意識を持って取り組まれて結果を出されたことは、本当に素晴らしいことだと思います。ま

た、食事で困っている人や高齢者が集まる機会に、嚙下食のことを伝えたいですね。
参加者 病院の食事には、あまり良いイメージがありません。また、嚙下食というと、ミキサーにかけて混ぜるイメージがあります。
 わたしたちが病院で作る嚙下食は、おはぎやお雑煮、マツタケご飯のような季節料理など、見た目も味も触感も、本物と同じような食事を目指して作っています。患者さんが食事を目で見て楽しむなど、五感で味わうことで、食べる意欲や生きる意欲につながってほしいと願っています。また、亡くなる前に最後のワンスプーンを食べさせてあげたいという思いで、栄養士や調理師が話し合っているものを作り上げることもあります。
市長 皆さんが工夫をこらして提供しておられる嚙下食で、病院食のイメージも変わると 생각합니다。人生の最後に食べたいものを食べられるということは幸せですね。
 本市でも嚙下食について問題意識を持っています。ヘルパーやケアマネジャーの研修などで、嚙下食について講演などをしていただきたいですね。短時間で嚙下食を作ること、難しいかもしれませんが、飲み込むことが難しい人の食事作りに、何らかのヒントになればと思っています。

市内で歴史や観光を考えている皆さんと市長が意見交換を行いました。

第19回

とき 10月9日(金)
 テーマ 津山のまちおこし

参加者

赤坂健太郎さん（瓜生原出身）
 臼井信吾さん（本町3丁目）
 武田富美子さん（宮脇町）

市民と市長のふれあいトークを開催しました

図書広報室 ☎32・2029

津山市指定ごみ袋の価格が変わります

岡環境事業所 ☎22-8255

平成28年2月から、津山市指定ごみ袋の販売価格が変わります。使用開始は平成28年4月からです。価格改定前の指定ごみ袋は、4月以降も使用できますが、計画的な購入をお願いいたします。詳しくは、お問い合わせください。
 新しい価格での販売開始日 平成28年2月1日(月)

指定ごみ袋の新しい料金表（消費税込み）

種別		1パック (10枚入り)
可燃	45ℓ	450円
	30ℓ	240円
	20ℓ	160円
不燃	10ℓ	80円
	30ℓ	240円
プラ	20ℓ	160円
	45ℓ	240円
	30ℓ	160円



メディア・リテラシーと性的分業意識

岡津山男女共同参画センター「さん・さん」 ☎31-2533

■メディア・リテラシーとは…

テレビやインターネット、新聞、雑誌などで発信される情報を理解し、その真偽を見抜いて活用する能力のこと

■性的分業意識に関する市民アンケートの調査結果（平成23年度実施）
 「男性が外で働いて、女性は家庭を守るべきだとは思えない」＝調査対象者のうち7割がこのように回答

上記のアンケート結果からも見てとれるように、近年、性別による役割意識は薄れつつあるようです。テレビのコマーシャルやドラマなどで、洗濯や料理などの家事を男性が担っていたり、タクシーやバスなどの自動車を運転する仕事を女性が担っていたりなどの様子が多く見られるようになってきました。しかしその反面、夜遅くまで職場で残業している様子を男性だけが演じていたり、家事をする様子を女性だけが演じていたりするなど、性別による固定化された役割意識を助長する場面もまだまだ多いようです。

普段、テレビや新聞、雑誌、ポスターなどのさまざまなメディアに接する中で、固定化された役割意識が生まれ、その意識が深まってしまう可能性があることに注意しましょう。

農耕車の申告はお済みですか

岡税制課（市役所本庁2階2番窓口） ☎32-2017、各支所・出張所担当課

乗用装置（座席）付きのトラクターやコンバイン、田植え機などは軽自動車税の課税対象であり、道路を走行しない場合であっても、ナンバープレートを取得する必要があります。

次のような場合は、必ず市役所で申告の手続きを行ってください。

- ☐新たに農耕車を購入した
- ☐農耕車を譲り受けた
- ☐農耕車を譲り渡した
- ☐農耕車を廃棄した

軽自動車税の賦課期日は、
 毎年4月1日です。
 手続きは3月31日(木)までに
 行ってください

なお、平成28年度から、農耕車を含む軽自動車税の税率が改正されます。
 詳しくは、市ホームページをご覧ください。

1月24日～30日は全国学校給食週間

岡保健給食課 ☎32-2117

1月の学校給食週間に合わせて、学校給食の大切さや役割について、児童・生徒や教職員、保護者、地域の皆さんの理解を深める取り組みを行います。

この期間中、市内の小中学校では、地元の食材を使ったメニューや、昔ながらの給食、津山の郷土料理などを提供します。

この機会に、家庭でも給食の大切さについて話をしてみませんか。



■地産地消の取り組み

子どもたちに安全・安心な給食を提供するため、地元で採れた安全な食材を使用し、地産地消を推進しています。

平成26年度の地場産食材の使用割合

岡山県産食材＝46.1％（その内、約4割が津山産食材）、国産品食材＝84.6％

地産地消として使用している食材

米は津山産のきぬむすめ、牛乳は岡山県産を使用し、キャベツ、大根、玉ねぎなどの6品目の野菜は、地元生産者とJAつやまが契約栽培したものを優先的に使用しています。